

天候情報*の解説 (XML フォーマット)

- *…全般気象情報(社会的に影響の大きい天候に関する情報)
 - 地方気象情報(社会的に影響の大きい天候に関する情報)
 - 府県気象情報(社会的に影響の大きい天候に関する情報)
- を総称して、「天候情報」と表記します。

天候情報は気象庁防災情報 XML フォーマットに従います。本解説は現在の天候情報発表の運用に則して詳細に記述していますので、今後の運用の変更に伴って本解説の内容が変わる可能性があります

1. Control 部

```
<Control>
  <Title>全般天候情報</Title>
  <DateTime>2008-08-08T05:55:00Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
</Control>
```

1-1 Title

電文の種別を示すための情報名称

[解説] 次の値のいずれかをとる。

“全般天候情報” “地方天候情報” “府県天候情報”

梅雨の時期に関する天候情報（以下、梅雨の天候情報と略す）の場合、“地方天候情報”で固定。

1-2 DateTime

発信時刻

[解説] 年月日時分秒を UTC 表記の DateTime 型で記載する。

1-3 Status

運用種別

[解説] 本情報の位置づけを示し、次の値をとる。

“通常”: 通常の情報を示す

“訓練”: 本情報は訓練であり、正規の情報として利用してはならないことを示す

“試験”: 本情報は試験であり、正規の情報として利用してはならないことを示す

1-4 EditorialOffice

編集官署名

[解説] 実際に発表作業を行った官署名を示す。

1-5 PublishingOffice

発表官署名

[解説] 業務的に発表した官署名を示す。

2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>西日本、沖縄・奄美の高温と少雨に関する全般気象情報</Title>
  <ReportDateTime>2008-08-08T15:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2008-08-08T15:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <ValidDateTime>2008-08-26T15:00:00+09:00</ValidDateTime>
  <EventID>200807221440 全般天候情報気象庁</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial>3</Serial>
  <InfoKind>天候情報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
```

2-1 Title

情報の標題

2-2 ReportDateTime

発表時刻

[解説] 発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する。

2-3 TargetDateTime

基点時刻

[解説] 本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。
発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する。

2-4 ValidDateTime

失効時刻

[解説] 本情報の失効時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する。
梅雨の天候情報の場合、出現しない。

2-5 EventID

識別情報

[解説] 本情報の識別情報を示し、本要素が同じものについては、一連の情報であることを示す。

2-6 InfoType

情報形態

[解説] “発表” “訂正” “取消” のいずれかを記載する。

2-7 Serial

情報番号

2-8 InfoKind

スキーマの運用種別情報

[解説] “天候情報”で固定。

2-9 InfoKindVersion

スキーマの運用種別情報のバージョン番号

[解説] バージョン番号を記載する。

例:バージョン 1.0 の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>

例:バージョン 1.1 の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>

2-10 Headline 部

```
<Headline>  
<Text>西日本、沖縄・奄美では、7月以降気温が高く、降水量のかなり少ない状況となっています。今後2週間程度は、  
西日本では気温が高く、西日本と沖縄・奄美では雨の少ない状況が続く見込みです。農作物や水の管理、健康等に十分  
に注意してください。</Text>  
</Headline>
```

2-10-1 Text

見出し文

[解説] 見出し文を記載する。

3. Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/"
<TargetArea codeType="全国・地方予報区等">
  <Name>全国</Name>
  <Code>010000</Code>
</TargetArea>
<Notice>この情報は、8月1日に発表した、「東日本、西日本、沖縄・奄美の高温と少雨に関する全般気象情報 第2号」
を引き継ぐものです。</Notice>
<MeteorologicalInfos type="天候情報">
  <MeteorologicalInfo>
    <DateTime significant="yyyy-mm-dd">2008-07-01T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>P52D</Duration>
    <Item>
      <Kind>
        <Property>
          <Type>本文</Type>
          <Text type="概況">西日本、沖縄・奄美では、7月以降太平洋高気圧におおわれ、気温が高い状況が続いていま
す。また、にわか雨や雷雨はあったものの、広い範囲でまとまった雨の降る日は少なく、降水量がかなり少
なくなっています。</Text>
          <Text type="今後の見通し">今後2週間程度は、西日本では太平洋高気圧におおわれ、気温の高い状況が続く見
込みです。また、西日本、沖縄・奄美では、局地的ににわか雨や雷雨となる日もありますが、雨の少ない状
況が続く見込みです。</Text>
          <Text type="防災事項">農作物や水の管理、健康等に十分に注意してください。</Text>
        </Property>
      </Kind>
      <Areas codeType="全国・地方予報区等">
        <Area>
          <Name>西日本</Name>
          <Code>020300</Code>
        </Area>
        <Area>
          <Name>沖縄・奄美</Name>
          <Code>020400</Code>
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
  </MeteorologicalInfo>
  <MeteorologicalInfo type="気象官署及び特別地域気象観測所">
    <DateTime significant="yyyy-mm-dd">2008-07-01T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>P38D</Duration>
    <Name>7月1日から8月7日まで</Name>
    <Item>
      <Kind>
        <Property>
          <Type>天候の状況（速報値）</Type>
          <Text type="表題">各地の7月1日から8月7日の平均気温と降水量は以下の通りです。（速報値）</Text>
        </Property>
      </Kind>
    </Item>
    <Item>
      <Kind>
        <Property>
          <Type>天候の状況（速報値）</Type>
          <ClimateValuesPart type="平均気温と平年差">
            <jmx_eb:Temperature type="平均気温" unit="度">28.6</jmx_eb:Temperature>
            <jmx_eb:Comparison type="平均気温平年差" unit="度">+2.3</jmx_eb:Comparison>
          </ClimateValuesPart>
          <ClimateValuesPart type="総降水量と平年比">
            <jmx_eb:Precipitation type="降水量" unit="ミリ">48.5</jmx_eb:Precipitation>
            <jmx_eb:Comparison type="総降水量平年比" unit="%">20</jmx_eb:Comparison>
          </ClimateValuesPart>
        </Property>
      </Kind>
      <Station>
        <Name>名古屋</Name>
        <Code type="国際地点番号">47636</Code>
      </Station>
    </Item>
  </MeteorologicalInfo>
</MeteorologicalInfos>
<Comment>
```

<Text type="末文">今後、気象台から発表される気象情報に留意して下さい。</Text>
</Comment>

3-1 TargetArea 部

発表官署の担当地域を記載する

[解説] codeType 属性の属性値は Control/Title の値によって以下の値をとる。

Control/Title : 全般天候情報／地方天候情報の場合 “全国・地方予報区等”

府県天候情報の場合 “気象情報／府県予報区・細分区域等”

この要素の子要素のコード種別(TargetArea/Code)が“全国・地方予報区等”または“気象情報／府県予報区・細分区域等”であることを示す。

地域名称(TargetArea/Name)とコード値(TargetArea/Code)を記載する。

3-2 Notice

お知らせ

[解説] お知らせがある場合や梅雨の時期に関する注意事項などを記述する

3-3 MeteorologicalInfos 部

Type 属性の属性値は“天候情報”で固定

情報の本文、各地域・各期間の観測・統計値等に関する事項(MeteorologicalInfo)を記載する

[解説] この要素の子要素は複数の MeteorologicalInfo をもつ場合がある

例) <MeteorologicalInfos>

<MeteorologicalInfo> …①

<MeteorologicalInfo type="気象官署及び特別地域気象観測所"> …②

<MeteorologicalInfo type="アメダス"> …③

①:本文を含む天候情報の全般的な内容を示す。電文中に必ず1つだけ出現する

②③:天候の状況を示す観測値等の統計データを示す。この場合に Type 属性がセットされ、観測データの種類を表す属性値をとる。電文中に現れる回数は不定(0回以上)

3-3-1 MeteorologicalInfo 部

[解説] 本文を含む全般的な内容を示す。電文中に、属性値無しの MeteorologicalInfo が必ず最初に1つだけ出現する。

観測内容(観測基点時刻(DateTime)・情報の対象期間(Duration)、情報の本文等(Item))を記載する。

梅雨の天候情報の場合、この要素の子要素 Item は複数出現する。

<Item>…①

<Item>…②

<Item>…③

①:本文を記載する。電文中に必ず1つだけ出現する。

②:参考事項(梅雨入り／梅雨明けの日付)を記述する。電文中に必ず1つだけ出現する。

③:参考事項(梅雨入り／梅雨明けの日付)を記述する。地域を細分して情報を発表する地方(東北地方、九州南部・奄美地方)のみ出現することがある。

3-3-1-1 DateTime

観測基点時刻

[解説] significant 属性値により、時刻の有効部分が["日"]までであることを示す。

JST 表記の DateTime 型で表記する。

梅雨の天候情報の場合、梅雨の時期に関する情報を発表した日付を記載する。

3-3-1-2 Duration

情報の対象期間

[解説] 情報全体の期間を記載する。

梅雨の天候情報では出現しない。

3-3-1-3 Item 部

[解説] 情報の本文となる天候の状況(Kind/Property 部) 及び地域(Areas 部)を記載する。
3-3-1 MeteorologicalInfo 部には、この Item 部が最初に一つだけ出現する。

3-3-1-3-1 Property 部

[解説] 情報の種類(Type)と本文(Text)を記載する
Type の値は“本文”で固定

3-3-2-3-1-1 Text 部

[解説] type 属性により、本文の内容項目を示す。属性値は“概況” “今後の見通し” “防災事項”
以外にも必要に応じて任意の文字列をとる。
梅雨の天候情報の場合、type 属性は出現しない。

3-3-1-3-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は Control/Title の値によって以下の値をとる
Control/Title : 全般天候情報／地方天候情報の場合 “全国・地方予報区等”
府県天候情報の場合 “気象情報／府県予報区・細分区域等”
対象地域(Area)を記載する
この要素の子要素のコード種別(Area/Code)が“全国・地方予報区等”または“気象情報／府県予報区・細分区域等”であることを示す
地域名称(Area/Name)とコード値(Area/Code)を記載する

3-3-1-4 Item 部

[解説] 梅雨の天候情報の場合のみ、3-3-1 MeteorologicalInfo 部の 2 番目に 1 つだけ出現する。
参考事項として記載する梅雨入り／梅雨明けの日付 (Kind/Property 部) 及び地域(Areas 部)を記載する。

3-3-1-4-1 Property 部

[解説] 梅雨の天候情報の場合のみ出現する。
情報の種類(Type)と梅雨入り／梅雨明けの日付(EventDatePart 部)を記載する。
Type の値は “梅雨入り” “梅雨明け”のいずれかをとる。

3-3-1-4-1-1 EventDatePart 部

[解説] 梅雨の天候情報の場合のみ出現する。
今年の梅雨入り／明けの日付(Date)、平年の梅雨入り／明けの日付(Normal)、昨年の梅雨入り／明けの日付(LastYear)、備考(Remark)を記載する。

3-3-1-4-1-1-1 Date、Normal、LastYear

[解説] 梅雨の天候情報の場合のみ出現する。
それぞれ description 属性、dubious 属性をとる。
description 属性により、梅雨入り／明けの日付を文字列で表示する場合の表記法を示す。
dubious 属性により、日付が数日の幅をもつことを示す。属性値は“頃”で固定。
「今年は梅雨入り／梅雨明けの情報を発表しない旨の情報」の場合には、Date は出現しない。
「昨年は梅雨入り／梅雨明けの時期を特定しなかった」場合には、LastYear は出現しない。
「昨年は梅雨入り／梅雨明けの時期を特定しなかった」場合等は、備考として、
<Remark>昨年の梅雨明けは特定しませんでした。</Remark> などと Remark に記述する。

3-3-1-4-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] 梅雨の天候情報の場合のみ出現する。
codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等”で固定。

対象地域 (Area) を記載する。

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が“全国・地方予報区等”であることを示す。

Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する。

3-3-2 MeteorologicalInfo[@type="観測データ種類"]部

[解説] 天候の状況を示す観測値等の統計データを示す。この場合に Type 属性に観測データの種別を表す属性値がセットされる。属性値は“気象官署及び特別地域気象観測所”“アメダス”のいずれかをとる
この MeteorologicalInfo は梅雨の地域細分ごと、観測・統計期間ごと、観測データ種類ごとに出現するため、電文中に現れる回数は不定 (0 回以上)。梅雨の天候情報のうち、梅雨入りの場合には出現しない。

3-3-2-1 DateTime

観測の基点時刻

[解説] この MeteorologicalInfo が示す観測期間の基点時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する。

3-3-2-2 Duration

観測期間の長さ

[解説] この MeteorologicalInfo が示す観測期間の長さを記載する。

3-3-2-3 Name

観測期間の内容

[解説] この MeteorologicalInfo が示す観測期間を文章で記載する。

3-3-2-4 Item 部

表題を記載する Item

[解説] 表題を記載する Item 部は、3-3-2 MeteorologicalInfo 部の最初の一つだけ出現する。
Item/Kind/Property 以下に量的予想の種類 (Type) と表題 (Text) を記載する
Type の値は“天候の状況 (速報値)”で固定
Text の属性値は“表題”で固定

3-3-2-5 Item 部

観測・統計データを記載する Item

[解説] 観測・統計値等の詳細 (Kind/Property 部) 及び地点 (Station 部) を記載する。
観測・統計データを記載する Item 部は、3-3-2 MeteorologicalInfo 部の 2 番目以降に、地点 (Station) ごとに出現する。出現回数は不定 (0 回以上)。

3-3-2-5-1 Property 部

観測・統計値等の詳細

[解説] 情報の種類 (Type)、気温、降水量、日照時間等の値と平年差等 (ClimateValuesPart 部) を記載する
Type の値は“天候の状況 (速報値)”で固定

3-3-2-5-1-1 ClimateValuesPart[@type="気候要素の種類"]部

[解説] type 属性値は天候情報に掲載する観測・統計値と気候要素の種類によって以下の形をとる
「(気候要素) + 平年値 + 平年差 (比)」

気候要素は次の値をとる

“平均気温” “最高気温” “最低気温” “日照時間の合計” “総降水量” “降雪量” “最深積雪”

Type 属性値は、

- ① 「実況・平年値・平年差 (比)」を掲載する場合
“ (気候要素) と平年値と平年差 ”
例: 平均気温と平年値と平年差
- ② 「平年値・平年差 (比)」を掲載する場合
“ (気候要素) の平年値と平年差 ”
例: 最高気温の平年値と平年差
- ③ 「平年値のみ」あるいは「平年差 (比) のみ」を掲載する場合
“ (気候要素) の平年値 ”、あるいは “ (気候要素) の平年差 ”
例: 日照時間の合計の平年値、総降水量の平年差

type 属性値は、梅雨の天候情報の場合は通常“総降水量と平年値”を取る。
type 属性値ごとに Property 以下に複数回出現する。

この要素は、type 属性値によって以下の子要素をもつ

type 属性値	子要素
“平均気温” “最高気温” “最低気温” または “平年値”	jmx_eb:Temperature
“日照時間の合計” または “平年値”	jmx_eb:Sunshine
“総降水量” または “平年値”	jmx_eb:Precipitation
“降雪量” または “平年値”	jmx_eb:SnowfallDepth
“最深積雪” または “平年値”	jmx_eb:SnowDepth

各気候要素の平年差(比)

: jmx_eb:Comparison

3-3-2-5-1-1-1 jmx_eb:Temperature、jmx_eb:Precipitation、jmx_eb:Sunshine、jmx_eb:SnowfallDepth jmx_eb:SnowDepth

各気象要素の観測・統計値を記載する

[解説] type 属性により、観測・統計値を分類する(実況値 or 平年値)

各気象要素の type 属性値は以下の値をとる

気温 jmx_eb:Temperature type = "平均気温" "平均気温平年値"
"最高気温" "最高気温平年値"
"最低気温" "最低気温平年値"
降水量 jmx_eb:Precipitation type = "降水量" "降水量日別平滑平年値合計"
日照時間 jmx_eb:Sunshine type = "日照時間" "日照時間合計平年値"
降雪量 jmx_eb:SnowfallDepth type = "降雪量" "降雪量平年値"
最深積雪量 jmx_eb:SnowDepth type = "最深積雪" "最深積雪平年値"

unit 属性により、単位を記載する

condition 属性により、統計に係わる観測値の状態を記載する場合がある

condition 属性値は以下の値等をとる

"準正常" 観測結果にやや疑問があるか、対象資料が許容範囲内で欠けている場合
"資料不足" 対象資料が許容範囲を超えて欠けている場合
"値なし" 統計期間の不足等により統計値がない場合
※上記以外にも、観測値の状態に関する値を取る場合がある

3-3-2-5-1-1-2 jmx_eb:Comparison

平年や前年等の差(比)を記載する

[解説] type 属性により、気象要素を分類する

type 属性値は以下の値をとる

"平均気温平年差"
"総降水量平年比"
"日照時間合計平年比"
"最高気温平年差"
"最低気温平年差"
"降水量平年比"
"降雪量平年比"
"最深積雪平年比"

unit 属性により、単位を記載する

condition 属性により、統計に係わる観測値の状態を記載する場合がある

condition 属性値は以下のような値等をとる

"準正常" 観測結果にやや疑問があるか、対象資料が許容範囲内で欠けている場合
"資料不足" 対象資料が許容範囲を超えて欠けている場合
"値なし" 統計期間の不足等により統計値がない場合
※上記以外にも、観測値の状態に関する値を取る場合がある

気温平年差の値が正の場合、前年等の差の値には「+」記号を付加する(例:+2.3)

3-3-2-5-2 Station 部

地点要素全体

[解説] Kind 部で表示する内容の対象となる地点名称(Station/Name)とコード値(Station/Code)を記載する

Code 要素の属性値は"国際地点番号"で固定。コード種別が"国際地点番号"であることを示す

3-4 Comment 部

末文

[解説] 末文(Text)を記載する。Text 要素は type 属性により、文章の種類を記載する。特筆すべき事項がない場合は出現しない。梅雨の天候情報の場合、過去に梅雨の入り/明けをしなかった年などの参考事項(Text)を記載する。